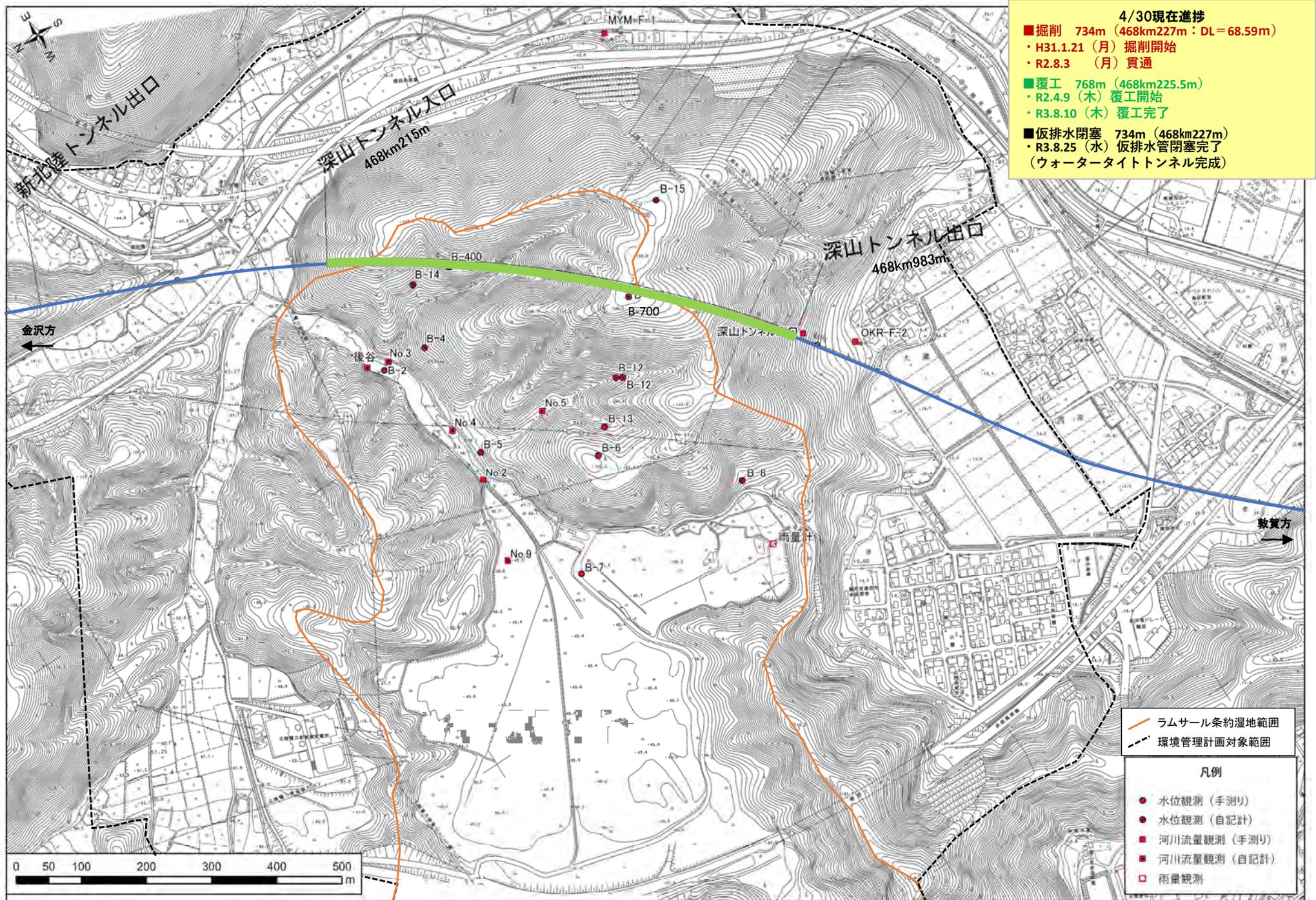


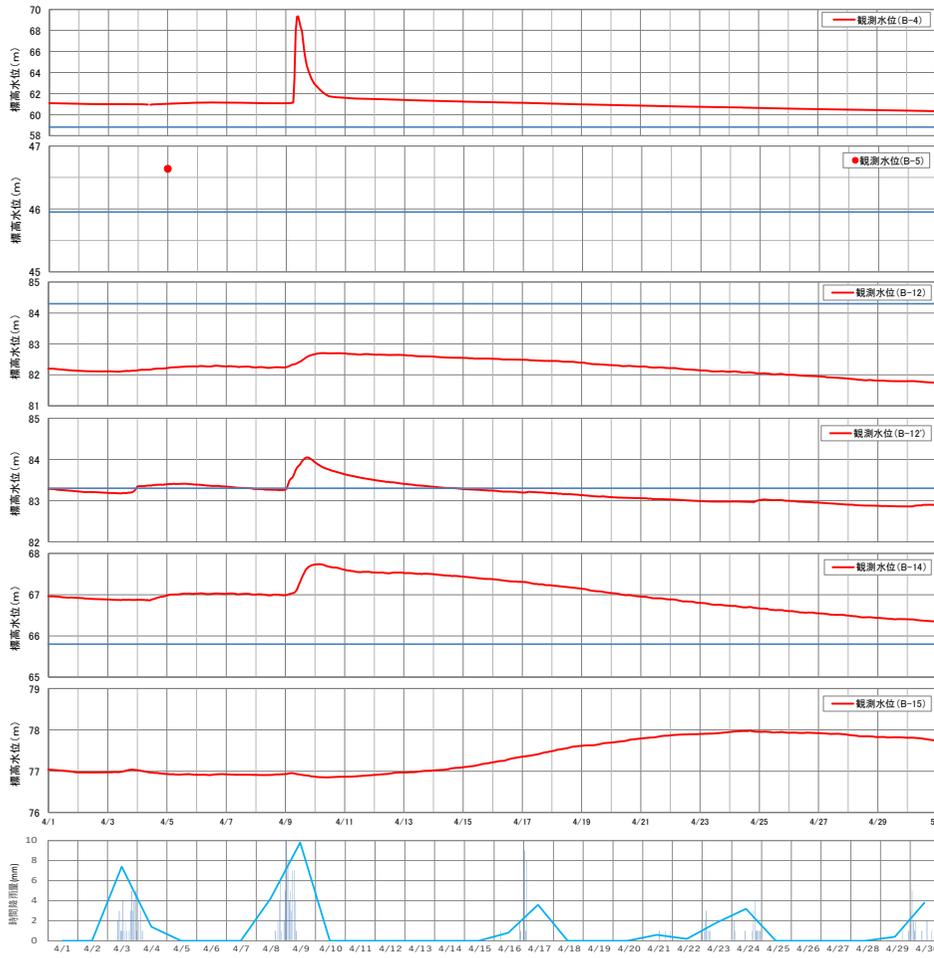
深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和6年4月1日（月）～令和6年4月30日（火）

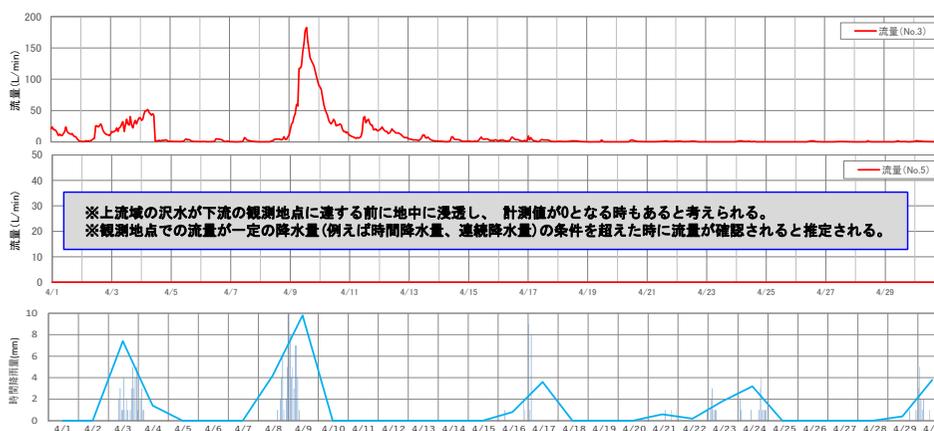
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



※主要箇所のみ抜粋 地下水位観測結果図 (自記録)



流量観測結果図 (自記録)



B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-15 地下水位

No. 3 流量

No. 5 流量

全体総括
 ■目立った変動なし □やや変動あり
 □変動あり

期間中の地下水位低下量
 ■1m未満ないし増加：全箇所
 □2m未満： □5m以上：

日降水量
 □15mm未満 ■15mm以上(6日) □50mm以上

月降水量
 □80mm未満 □80mm以上 ■130mm以上 □200mm以上

概要

■水位変動について

- ①目立った変動なし
- ②B-4(自記水位計)：期間中の降水に概ね不明瞭ながらも反応を示す。4/9の降雨には明瞭に反応し、その後なだらかに水位低下する。
- ③B-5(手計り)：水位変動はほぼ一定のため、本年から手計りに移行した。過年度最低水位を上回る状態が継続する。
- ④B-12(自記水位計)：不明瞭ながら降雨に反応する。4/9の降雨で水位が上昇したのち、なだらかに水位低下している。過年度最低水位を下回っている状態が続くため、今後も注視していく。
- ⑤B-12'(自記水位計)：4/9の降雨に明瞭に反応し、その後水位低下している。過年度最低水位付近で変動し、下回っている。今後も注視していく。
- ⑥B-14(自記水位計)：明瞭に降雨に反応する。期間中、4/9の降雨で水位上昇し、その後なだらかに低下している。過年度最低水位を上回っている。
- ⑦B-15(自記水位計)：降雨に不明瞭ながら反応を示し、4/23にかけて水位上昇したのち、なだらかに水位が低下して下る。

■流量変動について

- ①No. 3(自記)：期間中の降水に明瞭な反応を示す。4/9の降雨で流量が増加するが、その後降雨が少ない時期は減少している。
- ②No. 5(自記)：期間中は0L/minの状態が続く。
 ⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。
 ⇒観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ①3月の日最大降水量：3/26の32.0mmである。
 ⇒4月の日最大降水量：4/9の49.0mmである。
- ②3月の降水量：187.0mm、4月の降水量：186.0mmである。
 昨年3月は129.5mm、4月は166.0mmである。
 平年値(敦賀アメダス)は3月は144.6mm、4月は120.4mmである。